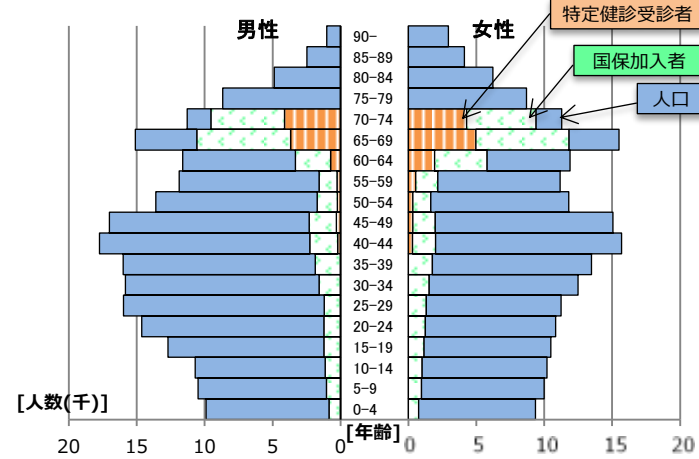


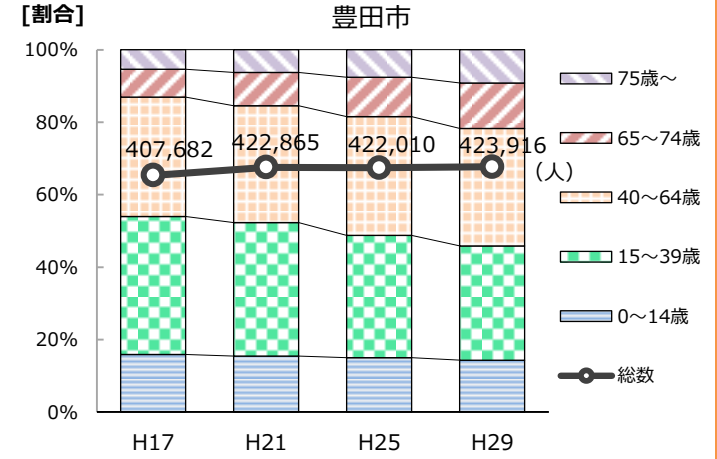
# 豊田市 地域健康カルテ (平成 29 年度概要版)

## 豊田市のデータ

男女別年齢階級別人口 (人口: H29.4.1)

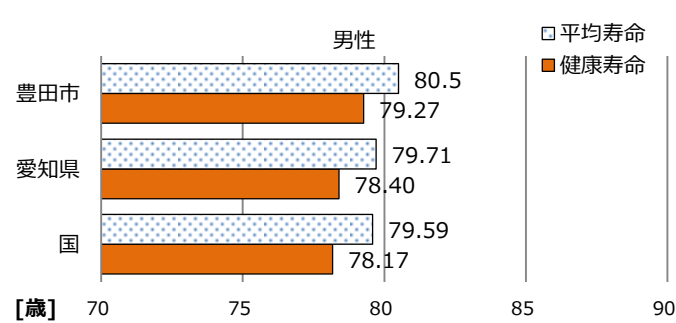


人口推移 (各年 4 月 1 日)

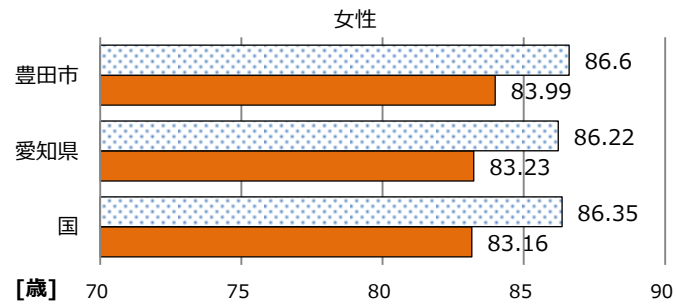
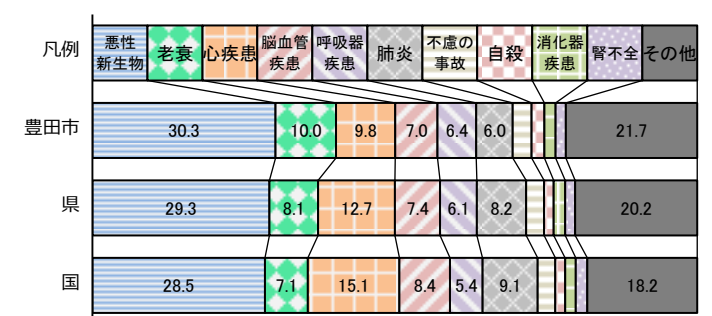


平均寿命と健康寿命 (H22)

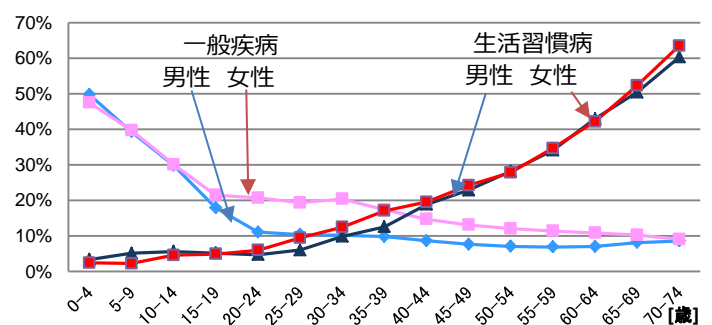
※健康寿命: 日常生活動作が自立している (要介護 2～5 以外) 期間の平均より算定



主要死因別順位 (H28)



国保年齢階級別保有者率 (H28)



人口構成 (H29 年 4 月 1 日現在)

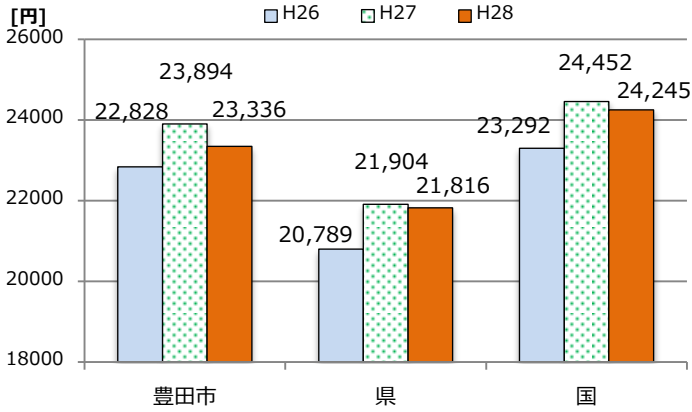
- ・ 総人口: 423,916 人 (男性 221,381 人、女性 202,535 人)
- ・ 世帯数: 176,123 ・ 高齢化率: 21.7%
- ・ 外国人: 15,415 人 (ブラジル 5,630 人、中国 2,645 人、フィリピン 1,656 人、その他 5,484 人)

## 地域の組織やその活動

名称	内容等
自治区数	・ 301 自治区
地域予算提案事業	・ 64 事業 (うち、健康増進に関する事業は 6 事業)
交流館	・ 自主グループ 1,159 グループ (うち健康・スポーツは 172 グループ)
コミュニティ会議	・ 健康づくりの部会 15 か所 (内補助金 9 団体申請)
ヘルスサポートリーダー	・ 会員数 327 人
高齢者クラブ	・ 219 クラブ: 男性 (12,575 人) 女性 (13,308 人)
ふれあいサロン	・ サロン数 321 か所
医療機関数	・ 病院 (16)、診療 (178)、歯科 (152)
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 元気アップ教室 48 か所開催 (自治区 25 か所、サロン 7 か所、交流館 8 か所、社協包括支援センター 8 か所)</li> <li>・ 地域介護予防活動支援事業 99 か所 ※平成 29 年 3 月末時点</li> <li>・ わくわく事業 291 事業 (保健・医療・福祉 13、伝統・文化・郷土芸能・スポーツ 62、安心・安全 21、生活・自然環境 123、子ども 49、産業振興 4、地域づくり 0、地域社会の構築 19) ※平成 28 年度実績</li> </ul>

### 国民健康保険 医療費データ

一人当たり医療費 (月額)

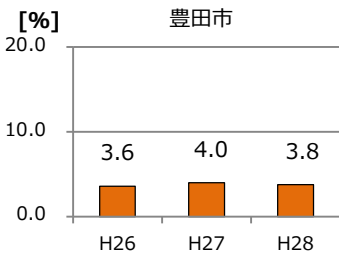


国民健康保険 医療費の内訳 (H28)

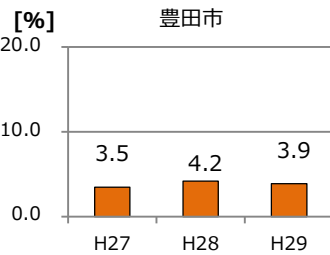


### 子ども 肥満者率

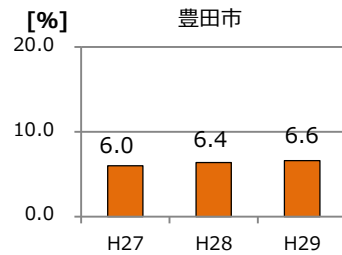
3歳



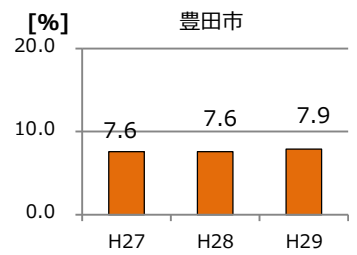
園児



小学生

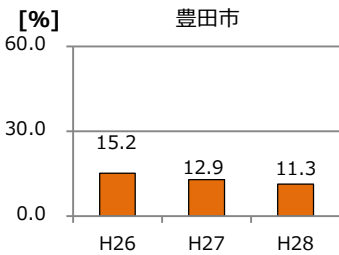


中学生

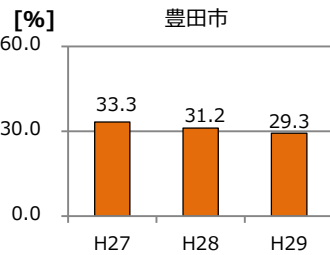


### 子ども う歯有者率

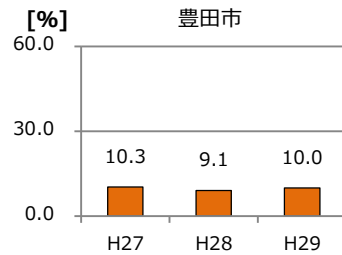
3歳



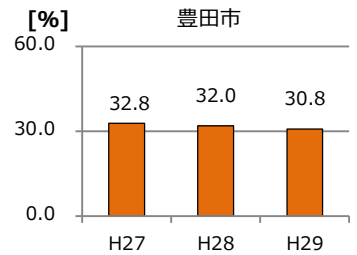
園児



小学生

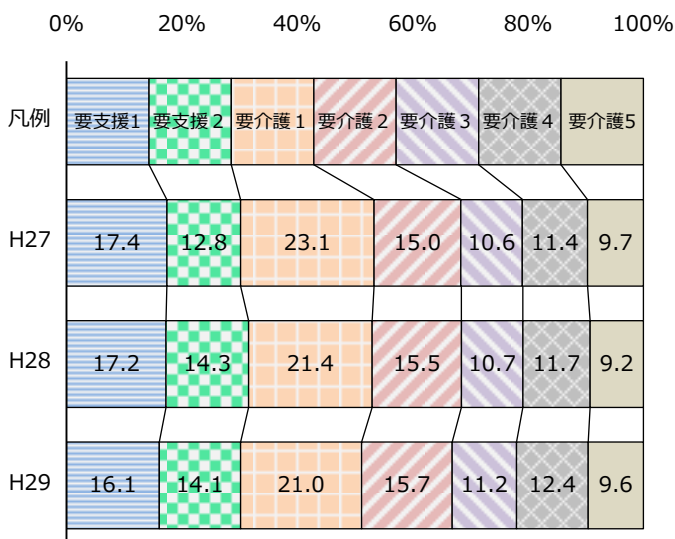


中学生



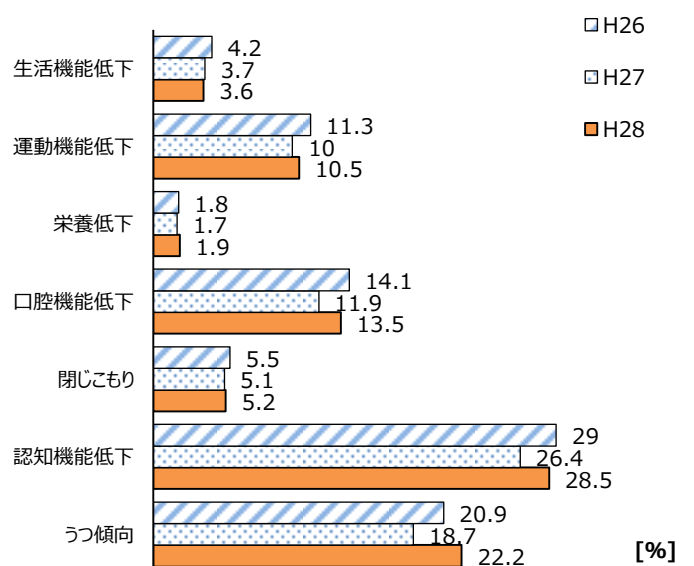
### 高齢者データ

介護保険 要介護割合 (各年9月末)



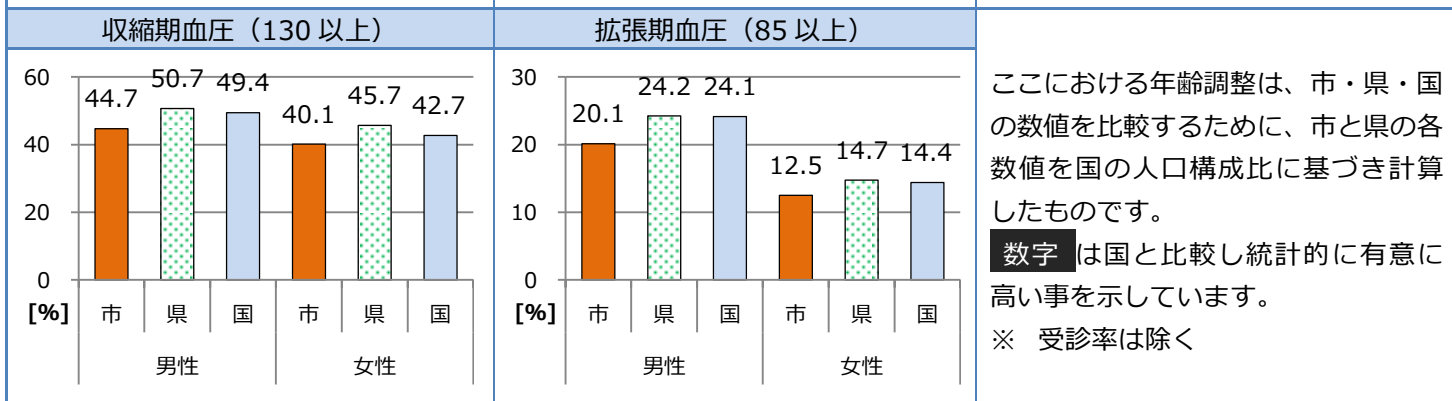
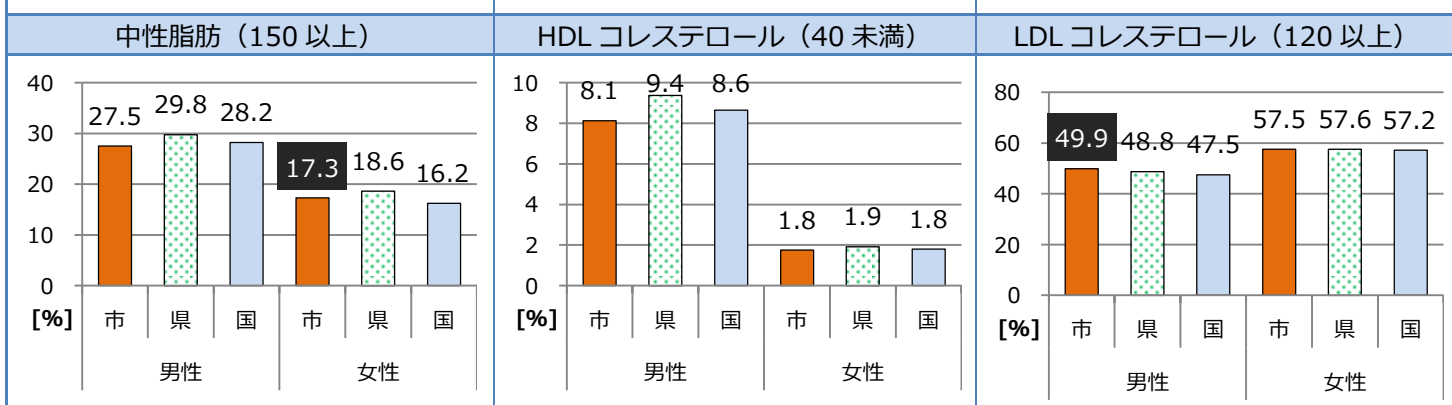
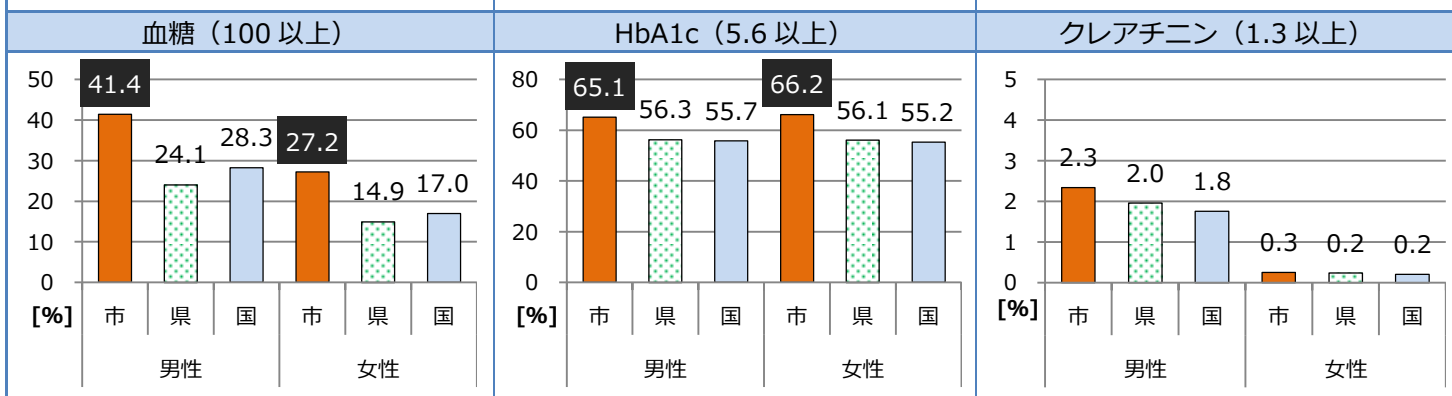
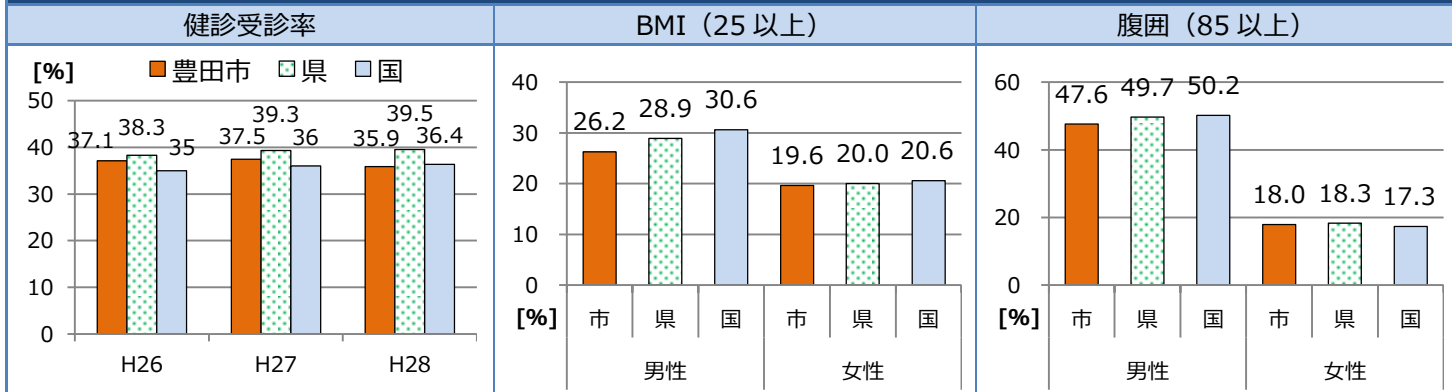
要介護認定率：H27(14.4%),H28(14.3%),H29(14.0%)

いきいき健康チェック

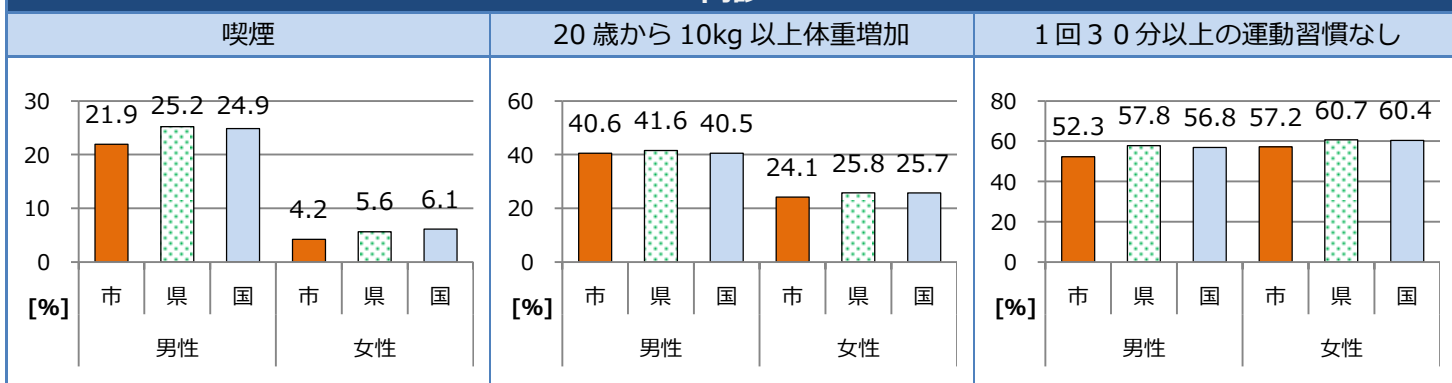


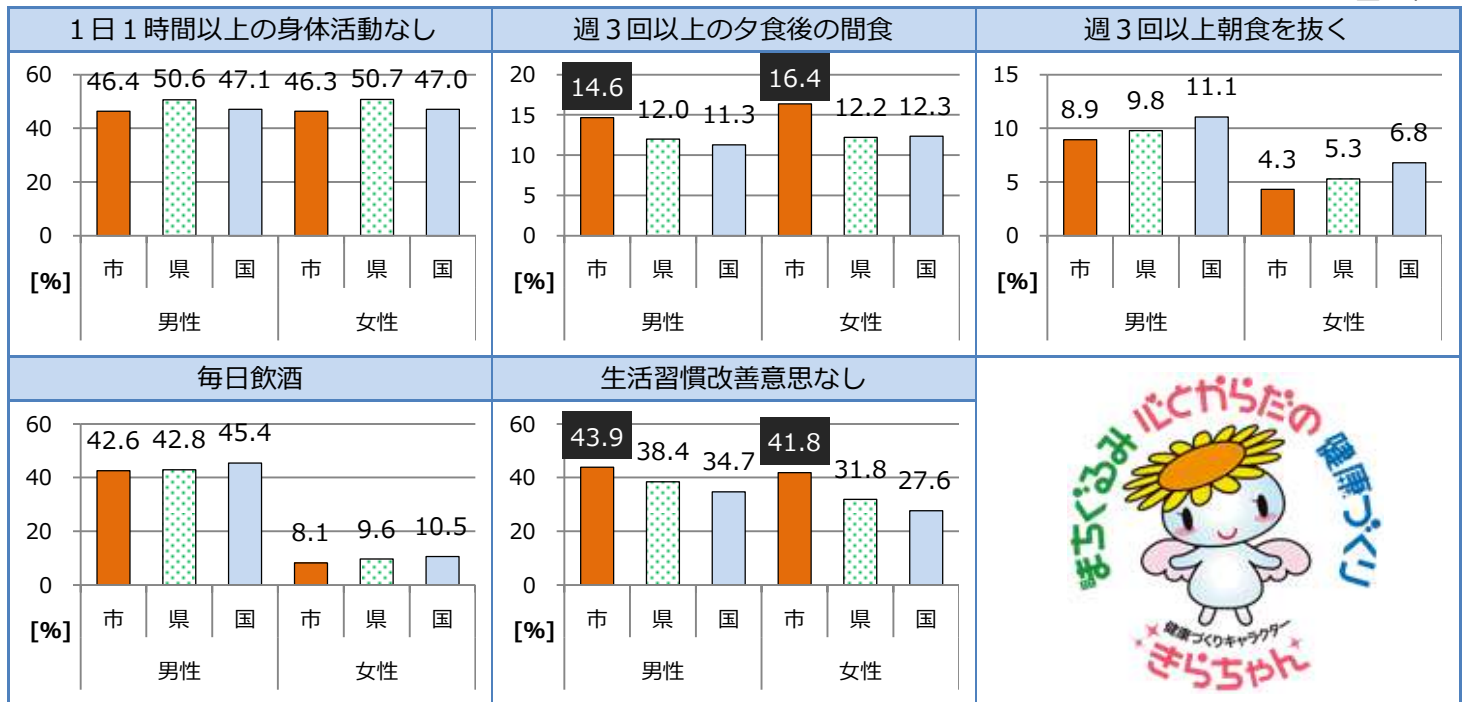
教室該当率：H26(21.95%),H27(20.0%),H28(21.4%)

国民健康保険 特定健康診査 年齢調整(H28)

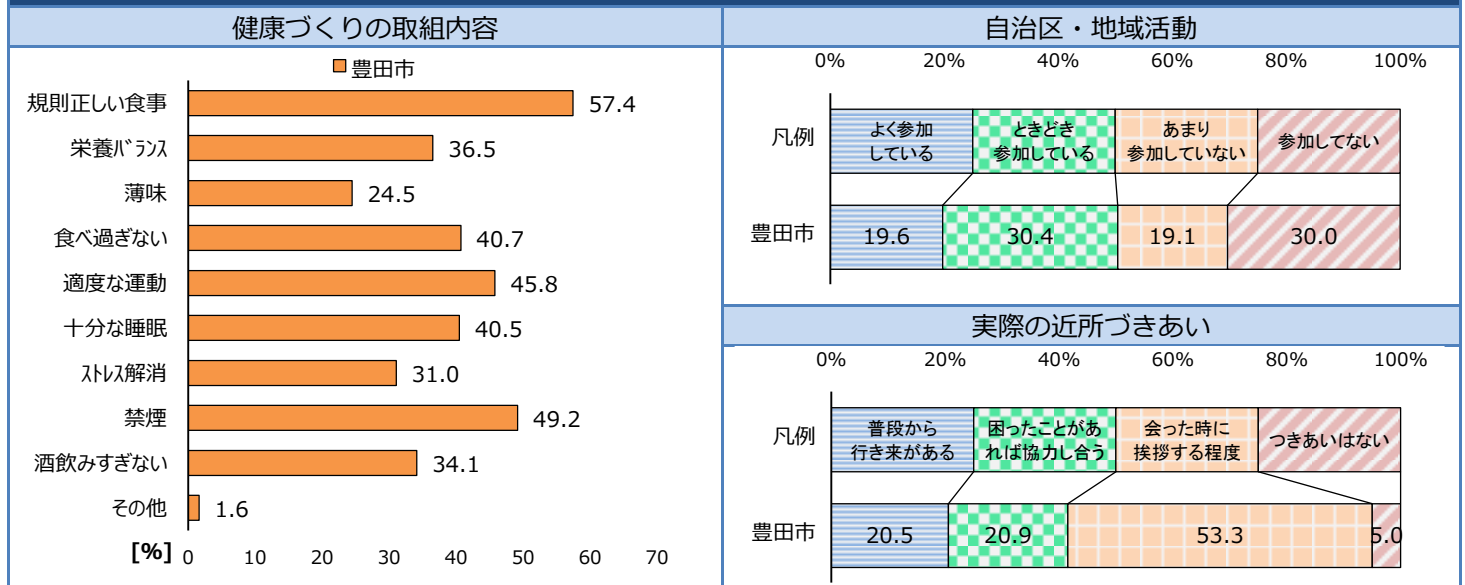


問診





### 市民意識調査 (H28)



### データから見る豊田市の特徴と課題

- ・男女ともに65～69歳の団塊の世代人口とその子の世代の40～44、45～49歳人口が多い。また、人口は微増ながら、0～14歳の年少人口割合は減少、65歳以上の高齢者割合が増加しており、少子高齢化が進んでいる。
- ・平均寿命、健康寿命については男女ともに国や県よりも高い。
- ・主要死因の上位3疾患は、「悪性新生物」「老衰」「心疾患」であり、全体の過半数を占める。
- ・一人当たり医療費は、県より高いが国より低い。一方、医療費の内訳は「糖尿病」「高血圧症」「脂質異常症」の割合が国、県より高い。
- ・子どもの肥満者率は、3歳から中学生にかけて成長と共に割合が増加している。
- ・平成28年度の健診受診率は35.9%で前年度より減少傾向で、さらに県、国より低い。
- ・検査項目該当者率では、男女とも「血糖」「HbA1c」、男性の「LDLコレステロール」、女性の「中性脂肪」が国と比べ有意に高い。また男性の「クレアチニン」は国や県より高い特徴がある。
- ・問診項目該当率では、男女とも「夕食後の間食」「生活習慣改善意思なし」が国より有意に高い。
  - 医療費の内訳では「糖尿病」が、健診結果では男女ともに「血糖」「HbA1c」が高い者が多いため、個別指導や受診勧奨などを徹底するとともに、あらゆる機会での糖尿病予防の普及啓発を行う必要があると考えられる。
  - 生活習慣改善に向け、間食や糖分、塩分摂取に気を付けた食習慣の見直しや、ウォーキングなどの運動に気軽に取り組める機会を増やすなど、地域ぐるみでの健康づくりの推進が必要であると考えられる。